# MRAデバイスの共有回線と複数回線の有効化

#### 内容

<u>はじめに</u>		
<u>前提条件</u>		
<u>要件</u>		
<u>使用するコンポーネント</u>		
<u>背景説明</u>		
<u>設定</u>		
<u>確認</u>		

## はじめに

このドキュメントでは、MRAデバイスの共有回線と複数回線を有効にする方法について説明しま す。

## 前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

Cisco Expresswayサーバ モバイルおよびリモートアクセス(MRA)

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のハードウェアやソフトウェアのバージョンに限定されるものではあ りません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して ください。

#### 背景説明

Cisco Unified Communications環境では、共有回線と複数回線は、ユーザが複数のコールをより 効果的に管理し、コール処理の柔軟性を高めることができる機能です。MRA環境でこの機能を設 定するには、Expressway CサーバでSIPパスヘッダーを有効にする必要があります。

Expressway-Cのデフォルトの動作では、SIP REGISTERメッセージの連絡先ヘッダーが書き換え られます。SIPパスヘッダーを有効にすると、Expressway-Cは自身のアドレスをパスヘッダーに 追加しますが、連絡先ヘッダーは書き換えません。この設定は、次のような一部の機能がMRAで 動作するために必要です。

- 共有回線と複数回線
- BiBコール録音
- サイレントモニタリング
- キー拡張モジュール

#### 設定

ステップ1: Expressway-Cで、Configuration > Unified Communications > Configurationの順に移動します。

ステップ2: SIP Path headersをOnに変更し、変更を保存します。

Status > System > Configuration > A	oplications > Users > Maintenance >	3 Hele og Logout		
Unified Communications		You are here: Configuration + Unified Communications + Configuration		
Meeting Server configuration				
Guest account client URI	No Guest account client URI			
Advanced				
HTTP server allow list	Configure HTTP server allow list			
	See automatic inbound rules			
SIP Path headers	On 🕶 👔			
Credentials refresh interval (minutes)	* 480			
Credentials cleanup interval (minutes)	* 720 (i)			
Maximum authorizations per period	* [0			
Rate control period (seconds)	* 300			
STUN keepalive	On V (i)			

ステップ3: Configuration > Unified Communications > Unified CM serversの順に移動します。

ステップ4: Refresh serversをクリックします。

## 確認

MRAデバイスのアカウントからログアウトし、再度ログインして変更をテストします。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人に よる翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっ ても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性につ いて法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照する ことを推奨します。